

令和7年（2025年）11月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和7年12月10日（水）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	野原 嘉孝 (公明党)	1 防災行政について 2 環境保全と点検整備について 3 放置自動車等の対応について	10月20日、大雨の影響で松川の小高い丘で倒木が発生し、大きな枝が敷地境界のフェンスを破損させて隣地アパートの駐車場に落下した。さいわい全ての車両は出払っており人身に及ぶ被害も発生しなかったが、少しずれていたらアパートに激突しており在宅の住人からは大きな不安が上がっていた。現場対応の状況を伺う (1) 街路樹と公園樹木の管理及び「都市景観資源」に指定されている樹木等の管理保全の状況を伺う (2) 古島中公園の修繕計画について伺う (3) 末吉公園近く安謝川沿い通路の整備について伺う 自動車、バイク、自転車等が道路や歩道、公園等に放置されて困っているとの相談を何度も受けてきた。移動撤去について時間がかかることが多いと感じる。現状をどのように把握しているか、その課題と対策について伺う
【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長			

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	栗國 彰 (なは自民・無所属の会)	公園行政について	<p>(1) 新都心公園 Park-PFI事業について</p> <p>① 公募対象施設及び特定公園施設に係る整備費について伺う</p> <p>② 公園の官民連携に関する基本方針によると「特定公園施設の整備に係る事業費について、社会资本整備総合交付金の官民連携型賑わい拠点創出事業費の活用を検討し、Park-PFI事業者は総事業費の1割以上負担することを想定する」としているが、特定公園施設整備に係る事業者の負担分について伺う</p> <p>③ Park-PFI事業は、設置した施設から民間事業者が得た収益の一部を公園設備に還元することを条件としているが、事業運営で生じた利益の一部を今後老朽化した遊具等の整備費として負担を求める想定しているか伺う、また制度上求めることは可能と思うが、仮に想定していないなら、その理由を伺う</p> <p>④ 飲食店に係る年間占用使用料を伺う、また大屋根部分は減免とのことだが、その減免額を伺う、また大屋根空間での飲食が可能であれば、使用料を徴収し、公園施設の整備財源に充てるべきだと思うが、見解を伺う</p> <p>⑤ 当該事業の20年継続を想定した場合、当該事業が負担する特定公園施設に係る総整備費及び使用料、固定資産税（償却資産）を含めた年平均の負担額と同事業規模を民間地で賃貸借した場合の年間賃料の比較について伺う</p> <p>⑥ 事業破綻時の措置（保証金、現状復旧、事業の継承）について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>⑦ 駐車スペースは 138 台が駐車可能とされているが従来の公園利用者に加えて、飲食施設使用者の駐車場の混乱が予想されるがその対策を伺う</p> <p>⑧ 新都心地区は行政機関、大型商業施設、医療施設、県立博物館、金融機関、ホテルなど宿泊施設、分譲マンションなど住宅が集中し、慢性的な交通渋滞が発生している。このような過密地域に位置する同公園の利用促進や賑わいの創出を目的とした Park-PFI 事業の導入は、更なる一極集中の加速と慢性的な交通渋滞の悪化につながりかねない。見解を求める</p> <p>(2) 新都心公園の管理について</p> <p>① 水の道「霧の噴水」が破損し、長期間機能していない、その対応を問う</p> <p>② 新都心公園水の道から天空橋に向かう途中に植栽の施された入り口ゲートがあり、それにはローマ字で NAHA (那覇) と表示がある。しかし逆におもろ天空橋からおもろまち駅に向かうとそのローマ字は裏標記となっており NAHA (那覇) と読むことができない、見解を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長			

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	古堅茂治 (日本共産党)	1 誰一人取り残さない優しい社会づくりへ、医療的ケア児の支援拡充について 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	<p>(1) 2014年に日本が批准した障害者権利条約は「障害のない市民との平等の実現」が根幹であり、支援をおこなう社会的責任が国や自治体にあることを宣言している。2021年、国会では全会一致で、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立し施行した。同法第5条では、「地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を実施する責務を有する。」と規定し、保育所、放課後児童クラブ、学校の設置者にも適切な支援を行う責務が課されている。医療的ケア児・重度障がい児の支援を行う意義は、「子どもの学習権と健やかな成長の保障」、「家族への過度な負担を軽減し、インクルーシブな社会を構築すること」にある。医療的ケア児の本市の数と、保育・こども園・学校などでの在籍者数について問う</p> <p>(2) 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に則って、国や自治体の責任で、保育所・こども園・学校などでの支援体制の拡充を図ることが求められている。子どもの自立の観点からも、保護者の大きな負担を軽減するためにも、医療的ケア児が家族の付き添いなしで、通園・通学できるようになるとともに、保護者の付添いがなくても適切な医療的ケアその他の支援を受けられるようにするため、保育所・こども園・学校などへの看護師や支援員の配置、その他の必要な措置を講ずることが求められている。本市での取組と課題について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 性の多様性を尊重する誰一人取り残さない優しい社会づくりについて</p> <p>3 政治とカネの問題について</p>	<p>本市は、オール沖縄・城間市政時代の2015年に全国2例目の「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言（レインボーなは宣言）を発表、2016年には「パートナーシップ登録」、2022年には「ファミリーシップ登録」と、なは男女平等推進プランにも記述があるように、本市議会がバックアップしてレインボー施策を前進させてきた。ところが、9月定例会において、性の多様性の尊重を否定し、「伝染する」「必要なのは治療」と当事者を傷つけ、差別を助長、人権を侵害する許しがたい発言があった。当事者をはじめ多くの市民、県民と県外からも強い非難の声が本市議会に寄せられた。さらに、県内新聞2紙と全国紙の社説でも発言の問題点が取り上げられ、厳しい批判を受けた。政治の役割は分断でなく、共生の理念を広げることにある。そこで、レインボー施策を前進させてきた本市の見解を問う</p> <p>(1) 11月28日、政治資金収支報告書が県選管から公表された。知念さとる後援会のパーティー開催事業（那覇市長 知念さとる市民と語る会）の開催日、場所、会費、参加人員、収入、支出について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			(2) 元議長が那覇市有地の所有権を巡り、市議会・政治を動かすのにカネが必要だとして、5千万円の賄賂を受け取り、逮捕起訴された贈収賄事件で、元議長は懲役4年、追徴金4千万円の求刑を受けた。判決は来月1月23日に言い渡される予定である。この事件では、賄賂を渡した被告人からレクチャーを受け、賄賂を受け取った元議長などの働きかけも受け、定例会で質問や様々な働きかけを行ったと検察の冒頭陳述で実名をあげて3名の市議の関与が指摘されている。その市議の一人が、「取り調べを受けたが自分は起訴されてない」と開き直っているのはもってのほかである。カネで市議会や政治を動かし、歪めようとした元議長の贈収賄事件は言語道断であり、多くの市民が怒っている。事件に関与した市議には政治倫理上の責任と説明責任が求められている。元議長は知念市長の選対本部長及び政治団体の会長、開き直っている市議会議員は選対の事務局長及び政治団体の会計責任者を担っていた。お二人と深い関係にある知念市長の道義的責任について問う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 那覇市の違法な行政行為の是正と第三者による徹底した検証について	<p>真嘉比古島第一地区土地区画整理事業に於いて、地権者・砂川氏への本市の換地処分を巡る係争では、本市は不服審査で2回、司法3回と5連敗、最高裁で那覇市の違法が確定している。判決では、「本件換地処分が他の権利者と比較して著しく不利益であって、不公平であると認められる。那覇市が裁量権を誤ったものであって土地区画整理法の89条1項に違反する。那覇市は、宅地について必要な造成工事を完了することなく本件換地処分をしたものといわざるを得ず、本件換地処分は103条2項にも違反するものである。」と那覇市の違法行為を明確に断じている。ところが、那覇市は裁判所の判決に従わず、違法行為のは正、必要な造成工事をいまだに行っていない。そのために、地権者は損害賠償請求訴訟を起こしている。判決を履行せず、地権者・市民をいじめる那覇市の姿勢は人権侵害であり、言語道断である。この問題では、都市建設環境常任委員会で陳情42号「土地区画整理事業事務に係る地方自治法第100条第1項等調査委員会の設置について」を4年かけて審査を行い、7月25日に全会一致で採択。さらに、行政法の大学教授、弁護士等専門的知見を有する第三者検証委員会を設置し検証することを強く求める「土地区画整理事業の所管事務調査結果報告」を採択した。土地区画整理事業を審査した本市議会の担当委員会の見解は明確に示された。市長と担当副市長の見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 カスタマー ハラスメント について	<p>(1) 職場のハラスメントに苦しむ労働者が増えている。精神障害に関する労災認定件数は5年連続で過去最多を更新しており、その原因はパワハラがトップで、顧客や取引先、施設利用者などによる著しい迷惑行為であるカスタマーハラスメント(カスハラ)に苦しむ労働者の労災申請も認定されている。そこで、2025年6月に「労働施策総合推進法」(パワハラ防止法)が改正され、すべての企業にカスタマーハラスメント対策が義務付けられた。同法は自治体職員にも適用され、「事業主」として自治体も対策を講じる義務がある。本市でのカスハラの状況と、自治労連が調査を実施し、12月1日に公表した全国の公務・公共職場で働く7万1,191人が回答したカスハラに関する調査の結果概要について問う</p> <p>(2) カスハラ相談窓口や対策の周知徹底など、1人で悩むのではなく、組織的に対応する体制づくりが求められている。本市での取組、体制について問う</p>

【答弁を求める者】

市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	宇根 良也 (無所属クラブ)	教育行政について	<p>(1) 部活動の地域展開の趣旨・意図を伺う</p> <p>(2) 部活動の今後の在り方について これまで本市教育委員会は「地域移行を念頭に検討する」と答弁してきた そこで、本市として今後の部活動の在り方をどのように位置づけるのか伺う</p> <p>(3) 過去3年間の部活動数および加入生徒数の推移について 本市立中学校における、令和5年度から令和7年度までの部活動数、加入生徒数の推移について、増減・傾向を伺う</p> <p>(4) 地域クラブ新設への支援について 新たに地域クラブを立ち上げようとする動きがある。すでに現場に存在しているが、指導者・用具・場所・運営費の確保など多くの課題が、地域や保護者だけに委ねられているのが実情である。本市としての具体的な支援の枠組みが見えにくく、制度的な後押しがない状況が続いている。また、ある本市立中学校では、指導者不在により、生徒のみで練習せざるを得ない状況に陥った事から、読谷村から市内大学へ通う学生が、善意でボランティアとして指導に入っているケースがある こうした取組は、子どもたちに明確な効果をもたらしている一方で、制度的な支援がないまま“善意”に依存しており、継続性に大きな不安が残っている。本市として、地域クラブを新設するための支援、必要な支援策をこれまでに具体的に実施してきたのか また、実施していないのであれば、今後どのように取り組むのか、方針を伺う</p> <p>(5) 改革推進期間における有識者会議の開催状況および実績について 改革推進期間(令和5～7年度)において、本市が実施した有識者会議の開催状況(回数)、協議内容、および得られた成果・方向性について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(6) 部活動指導員の配置拡充について 現在、本市では「学校あたり1名」の配置が続いている。教員の負担軽減および地域展開の推進にあたり、指導者不足は最大の課題である。今後、部活動指導員の配置を拡充する考えがあるか。本市の見解を伺う</p> <p>(7) 財源確保および市独自の予算措置について 地域クラブの立ち上げや運営支援を進めるには、財源の裏づけが不可欠である。国の動向を待つだけでは、地域展開は進まず、子どもたちの活動機会が失われる懸念がある本市として、地域クラブへの支援に向けた独自財源の確保、予算措置の検討について見解を伺う</p> <p>(8) 改革実行期間(令和8～13年度)に向けた具体的なスケジュールと体制について 令和8年度から始まる改革実行期間において、地域展開をどのようなスケジュール・工程・体制で進めていくのか。本市として示している具体的な実施方針を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	前泊 美紀 (無所属)	1 協働によるまちづくりについて 2 ひとり親家庭支援について 3 安心・安全な食支援について 4 「住まいの確保」について 5 犯罪被害者等支援について	<p>「那覇市版SIB」事業の特長と進捗状況、課題を問う</p> <p>(1) 新聞報道によると、現行の「扶養控除」制度は、「離婚や別居後に子の扶養者が決まらない場合は、所得が高い方に控除が適用される仕組みのため、母子世帯の不利益になる事例が起きている」という。市の実態把握と対応を問う</p> <p>(2) 共同親権の導入によるひとり親支援制度への影響について、市の認識と対応を問う</p> <p>(1) 本市における「安心・安全な食支援」について、必要性と現状認識、課題を問う。その中で、フードバンクの果たす役割について問う</p> <p>(2) 日本フードバンク連盟の認証を受けているNPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄が提供する食品分配の連携支援を利用した本市(所管課ごと)の実績と効果を問う</p> <p>(1) 「高齢者の住まい確保」について、今後の需要見通しと市営住宅及び住宅・福祉政策における見解を問う</p> <p>(2) 本市における住宅確保要配慮者居住支援協議会の設立について問う</p> <p>犯罪被害者等支援の充実に向けた本市の取組と条例制定に向けた今後の動向を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	上原 ゆいな (なは自民・無所属の会)	1 教育行政について 2 協働によるまちづくりについて 3 予算の見える化について 4 こどもまんなか社会について	(1) S E L教育の導入について伺う (2) さまざまな理由で学校へ行けない児童生徒の学ぶ場の整備について伺う (3) 修学旅行費における就学援助について伺う 地域の連携方法について、地域コミュニティアブリ「ピアッザ」のような民間プラットフォームを活用した地域の共助の仕組み導入について検討可能か伺う 「なはしのよさんのはなし」の配布場所や配布方法、配布状況について伺う 2026年度4月に施行される共同親権において、那覇市の各担当課のそれぞれの取組について伺う (1) 施行後は様々な影響が考えられるが、準備状況などを伺う (2) 各担当課にまたがる可能性があるが、保護者が混乱やたらい回しにならないよう、専用の相談窓口または各担当課の連携の仕組みを準備する予定はあるか伺う

【答弁を求める者】

市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	金城亮太 (公明党)	1 保育行政について 2 消防行政について 3 防災行政について 4 首里石嶺町雨水調整池について	<p>(1) こども誰でも通園制度について 令和8年度の本格実施が迫る中、本市では令和6年度から試行事業を開始し、今年度は公立2園で実施している。現在の利用状況、利用者・職員の声、見えてきた課題、そして来年度に向けた取組方針について、市の見解を伺う</p> <p>(2) 保育人材確保について 大阪府枚方市が実施する、短時間で働きたい潜在保育士と保育施設をアプリでマッチングする「短時間仕事紹介事業」は、人材確保と待機緩和に効果が期待される。本市でも導入可能性を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う</p> <p>(1) 消防隊員の充足率や救急出動件数の推移、充足率改善に向けた取組状況、今後の方向性について伺う</p> <p>(2) 中央消防署の名称を「北消防署」へ変更する提案について、その目的、これまでの検討経過、また名称変更に伴う予算措置について伺う</p> <p>近年、線状降水帯による短時間での大雨で、浸水常襲地区のリスクが高まっていることを踏まえ、本市の対応状況、また浸水被害を軽減するための各施設(首里石嶺町雨水調整池・沖縄県の真嘉比遊水地・古波蔵雨水ポンプ場等)の現状の機能、ならびに住民の早期避難につなげるための周知体制(防災行政無線・緊急メール・アプリ・防災訓練・講習等)の強化について、市の見解を伺う</p> <p>本年6月頃から供用開始された首里石嶺町雨水調整池上部の広場について、現在の利用状況、地域から寄せられている声、管理上の課題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 市営住宅について 6 道路行政について 7 文化振興について	<p>(1) 市営住宅の管理戸数・空き家数・応募および入居状況、課題について問う。また、住まいの確保に困難を抱える市民への対応方針について見解を伺う</p> <p>(2) 本年、壱川市営住宅で行ったＩＣＴによる高齢者の見守り支援の実証実験の成果と今後の取組について伺う</p> <p>市民から寄せられる道路損傷・危険箇所の相談件数、対応フロー、課題認識を伺う</p> <p>伝統文化の継承や発信に取り組む実演家・団体の活躍促進や地位向上に資するため、インバウンド需要を取り込んだ「文化と観光の連携施策」の検討が必要と考える。市の見解を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長			

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	普久原 あさひ (立憲民主・社民・ミライ)	1 文化芸術について 2 遺骨返還について 3 健康行政について 4 教育行政について	<p>本年開催されたなはーとダイアローグ第2回第3回の概要及びどのような議論がなされたのか伺う</p> <p>琉球人遺骨返還問題について、京都大学が2025年5月14日付で「人骨資料返還手続に関するガイドライン」を策定したことを踏まえ、那覇市は遺骨返還をめぐる歴史的意義、ならびに返還が国際的潮流となっている現状をどのように認識しているか、見解を伺う</p> <p>本年11月19日に若者ミライ議会が開催された。私の担当したグループではエトミデート、薬物問題について質問がなされ、薬物乱用の対策として「①再発防止の施設、薬物使用の目撃者や、誘われた・吸わされてしまった人たちが匿名で相談できる窓口の設置、②元薬物の使用者が社会で再び役割を持てるような場、③啓発のため元使用者が自らの経験を子どもたちに語る講話や講演会を開くこと」など非常に示唆に富む提案がなされた。那覇市は学生の提案をどう受け止め、施策にどう反映させるのか伺う</p> <p>教職員のメンタルヘルス対策について以下伺う</p> <p>(1) 精神疾患による病気休職者の面談を行う保健師の専門性(面談スキル、研修スキル、マネジメントスキル、その他スキルのそれぞれ5点ほど)について</p> <p>(2) 精神疾患による病気休職者の面談を行う保健師が負う可能性がある健康上のリスクを問う</p> <p>(3) 令和2年から令和4年までの全国の保健師、看護師の精神障害の労働災害認定の状況について、経年変化を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 生活困窮者支援について	年末年始の生活困窮者の支援を那覇市はどう行うのか、炊き出しなどの情報集約と広報についての取組を伺う
【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長			

一般質問（4日目） 令和7年12月10日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	吉里 明 (公明党)	1 コンテンツ産業の創出について 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	<p>国は、日本発コンテンツの海外市場規模 2033年までに20兆円へ拡大する方針を示し、エンタメ・クリエイティブ産業を成長戦略の重要分野に位置付けている。また本年9月には、海外展開支援やクリエーター育成、国際的な流通網の整備などを柱とした施策パッケージも取りまとめている</p> <p>この国の動向を踏まえ、本市としてコンテンツ産業・クリエイティブ産業の育成をどのように進めていくのか、見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 平和行政について	<p>(1) 本庁舎敷地内に「ゴルバチョフ記念碑」が設置されている この記念碑が設置された経緯や、当時込められた思い・意義について伺う。また、現在は庁舎の一角にひっそりと設置されており、市民や来庁者の多くは、その存在や場所を十分に認識していないとの声もある。そのことについての本市の受け止めを伺う</p> <p>(2) 歌や音楽には、分断や対立を越え、互いの違いを理解し合える力があると考える。また、三線・空手古武道・琉球舞踊・旗頭など沖縄が育んできた多様な伝統文化も、命どう宝の精神を礎に、幾多の苦難を乗り越えて受け継がれてきた貴重な財産であり、世界に堂々と誇り得る力を持つと考える こうした歌や音楽、そして沖縄の伝統文化が、これまで市民・県民にどのような影響を与えてきたのか。また、平和の心を育むうえでどのような意義を持つと考えるのか、本市の見解を伺う</p> <p>(3) 本市として、戦後100年に向けて、市民や企業・団体と連携した平和創出の取組をどのように位置付けているのか、その重要性について伺う。また、子どもから若者・企業・文化団体まで、幅広い市民が参画できる平和の取組を、今後どのように進めていく考えなのか、本市の見解を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長			

